




### ○ 災害時に気を付けたいこと


前ぶれもなく突然発生する災害の中で、いち早く避難行動を始めることが大切です。また、避難時に **我が家で二次災害をおこさないように、対策しておくことも重要**です。二次災害によって、家電製品や衣類が使えなくなってしまう可能性があります。

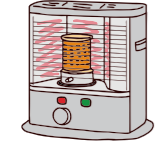
災害情報を見て、大変な地震だとわかったわ。避難しよう。でも避難したあとで家が火事になったら困るわね。





#### 揺れが収まったら…このような行動で確認しよう

- 

**❗ 火の始末は揺れの後**  
揺れているときに火を消そうとすると大やけどをする場合があるので注意を!揺れがおさまってから消しましょう。
- 

**❗ 火が出たらまず消火**  
火が出ても落ち着いて初期消火を行いましょう。決して無理をせず、2次災害を起こさないようにしましょう。(火が大きくなる前に逃げましょう。)
- 

**❗ 暖房器具を消す**  
冬は暖房器具が火元となり得るため、電源を切りましょう。ガスファンヒーターやガスストーブは元栓も閉めましょう。
- 

**❗ 戸を開け、出口を確保**  
地震の振動で戸が開かなくなることがあります。まず、戸を開けて避難出口を確保しておきましょう。
- 

**❗ 落下物や足元に注意**  
瓦やガラスなどの落下物は危険です。また、外に出るときはガラスを踏まぬよう必ず靴を履きましょう。

#### 避難へ向けての服装や準備を考える

- 

**❗ 避難の時、ガスの元栓とブレーカーは要チェック**  
火災が起きないように、避難するときは安全確認後にブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めておきましょう。
- 

**❗ 避難は徒歩で、荷物は必要なものを最小限に**  
避難所等へ移動するときは、車を使用せずにできるだけ徒歩で避難しましょう。状況によっては夜間の避難や、停電時の避難になる可能性もあります。懐中電灯を備えましょう。  
また、可能な限りヘルメットや手袋を着用し、スニーカーやジャージなどの動きやすい服装で避難しましょう。避難中の安全確認もしっかりと行いましょう。


### ○ 避難の前に…家の状況は大丈夫？


家族も無事だったし、おおよその被害状況も分かったし、早く避難しよう。でも、このまま家を出ても大丈夫かな…




10ページで貼り付けた我が家の図面を見ながら、白い枠の中を埋めましょう。


#### わたしの家は…

電源、熱源は何を使用していますか？  
電気・ガス・その他( ) 


避難する際にチェックしないといけないものがありますか？  
(ガスコンロ(火)、ブレーカー、エアコン等) 

ストーブ類、それに必要な灯油等燃料はどこにありますか？  
10ページの図面に○印を記入しましょう。 

避難するときの服装と置いてある場所は？

夏期の服: \_\_\_\_\_ 服がある場所: \_\_\_\_\_ 

冬期の服: \_\_\_\_\_ 服がある場所: \_\_\_\_\_

ペットがいる人の場合は誰がどのように同行避難しますか？ 

誰が: \_\_\_\_\_ どのように: \_\_\_\_\_

この内容をふまえて必要な行動を左のページを参考に考えてみましょう。

避難する前にわたしが行うことはこれです!

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

#### ペットの「同行避難」

災害発生時には原則として **飼い主が飼育しているペットと同行し、避難所まで安全に避難させることが必要**です。ただし避難所において人とペットが同一の空間で居住できることを意味するものではありません。避難所ではそれぞれのルールに従ってください。

